



喜多の埜

大阪市内の夏祭

今年も大阪に夏祭りの季節がやってきました。お祭の多くは宵宮と本宮と二日間かけて行われるところが多く、左記の一覧は本宮の日を記載しております。この夏はお近くの神社の夏祭に詣でて、暑さを乗り切る元気を氏神さまから頂かれては如何でしょう。

七月の大阪市内の主要夏祭り一覧

- 一日 愛染祭〓勝鬘院愛染堂(中央区)
- 七日 七夕祭〓当神社御旅社(北区)
星愛七夕祭〓大阪天満宮
- 一二日 夏祭〓杭全神社(平野区)
夏祭〓生國魂神社(天王寺区)
- 一四日 夏祭〓難波八坂神社(中央区)
夏祭〓御霊神社(中央区)
- 一五日 例祭〓当神社(北区・神事のみ)
夏祭〓豊崎神社(北区豊崎)
- 一六日 例祭〓玉造稻荷神社(中央区)
夏祭〓長柄八幡宮(北区)
- 一七日 夏祭〓大国主命神社(中央区)
- 一八日 例祭〓高津宮(中央区)
- 例祭〓八坂神社(北区海老江)
- 例祭〓八坂神社(北区大淀)
- 二〇日 夏祭〓姫嶋神社(西淀川区)
- 二二日 例祭〓桜宮(都島区)
夏祭〓山阪神社(東住吉区)
- 二二日 坐磨祭〓坐磨神社(中央区)
- 二三日 水室祭〓難波神社(中央区)
- 二三日 夏祭〓香具波志神社(淀川区)
- 二五日 天神祭(本宮)〓大阪天満宮
- だいがく祭〓生根神社(西成区)
- 三二日 住吉祭〓住吉大社(住吉区)

日程変更のあるところもありますので、
詳細は各神社にお問い合わせ下さい

梅干し

皆さまもご存知のすっぱい梅干。しかし、あれは梅の実を塩で漬け込んだものであり、正確には梅漬けとでもいうべきものです。しかし、昔から梅干の名称が用いられています。これは梅雨の明けた七月下旬から八月にかけて漬け込んだ梅を土用干しする事から、梅干の名が通称されるようになったとされます。何故干すかという点、炎天下で干す事により余分な水分を飛ばし、細菌、カビの繁殖を抑え、梅を長期間保存できるようにした先人の知恵であり、最古のものは何と室町時代のもので、未だに腐食していないそうです。

七月の旬

神事の際などに神さまにお供えする食べ物等の事を神饌(しんせん)といい、米・酒・塩・水などのお供え物が基本の神饌となります。

本来、順番や置き方など色々作法がありますが、古来より日々の感謝を込めて「旬のもの」をお供えする素直な心根こそが、神さまが一番お喜びになられるといわれています。

この七月に旬を迎えるものとして、

【野菜】

枝豆、オクラ、胡瓜、茄子、トマト、冬瓜、ピーマン、苦瓜、マッシュルームなど。

【果物】

桃、さくらんぼ、スイカ、メロンなど。

【魚介類】

鱈、鰻、穴子、鮎、真蛸、シジミなど。

【その他】

七夕の季節。竹笹の緑が映える季節です。梅雨も明け、暑さが厳しくなる季節。夏バテしないよう体調管理には気をつけましょう。

神社携帯サイトのQRコード



ドコモ、ソフトバンク、
au、モバイルPC 対応

編著 網敷天神社 禰宜(神主)

白江 秀知

